

思い描くライフプランを実現するために、 お金と保障の関係を理解しましょう

お金って
こんなにかかるんです!

人生の主な三大費用って?

人生に必要なお金を考えるとき、主な三大費用として、**教育費・住宅費・生活費** (老後資金含む) があります。

教育資金
約**1,000万円**
子ども1人あたりの総額
(幼稚園から大学まですべて国公立)

※文部科学省
「平成30年度子供の学習費調査」
※独立行政法人日本学生支援機構
「平成30年度学生生活調査結果」より

住宅購入費
約**3,495万円**
建売住宅の平均購入価格
全国平均

※住宅支援機構
「2020年度フラット35利用者調査報告」
より

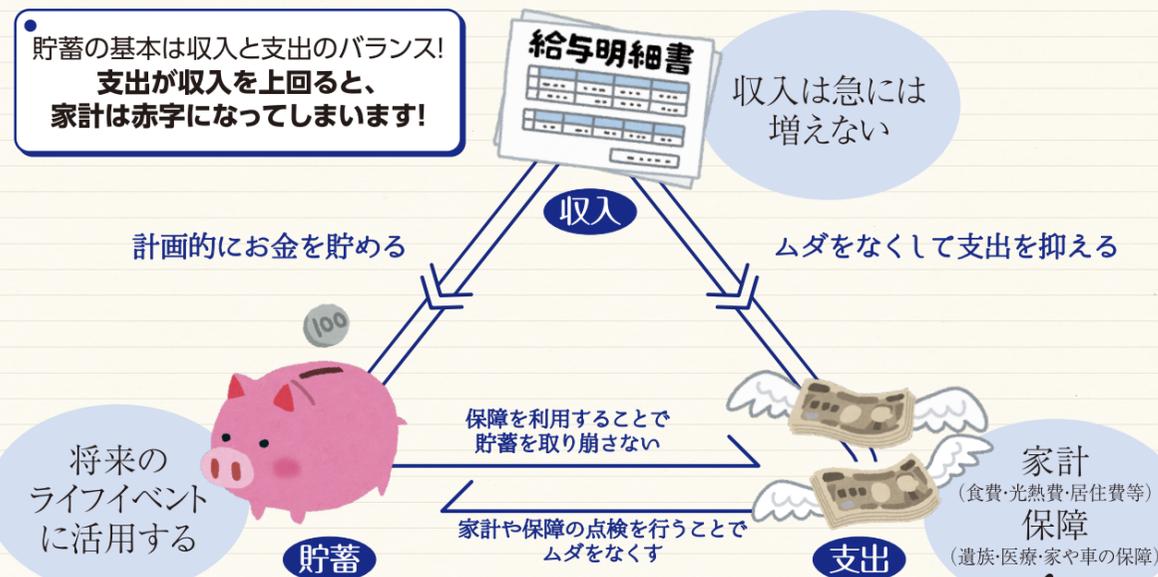
生活費(老後)
夫婦2人の基本生活費
約**26万円**
(月額)
65歳以上・無職世帯

※総務省
「家計調査年報」令和2年平均結果の概要より



上手なお金の貯め方って?

あらかじめ給与から貯蓄分を引いて
支出に回しましょう



支出を抑える方法は、大きく分けて「①保障の点検」と「②家計の見直し」!

- 「**保障の点検**」は、公的保障や勤務先の企業・団体内保障をベースに考え、不足する部分を私的保障で備えることで保障のムダをなくすことができます。
- 「**家計の見直し**」は、食費や光熱費・通信費などの支出を減らすための節約術とあわせ、借換え等により「住宅ローン」「車のローン」などの返済額を見直すことができます。

具体的な考え方は各ページをご参照ください

家計と保障の点検を行うことで、その分のお金を貯蓄に回し、将来のイベントに備えることができます。

“こくみん共済coop”が
お手伝いできるのは
ココ!

“中央ろうきん”が
お手伝いできるのは
ココ!

保障の点検

貯蓄は三角、保障は四角って?

貯蓄と保障の大きな違いは、「もしものとき」にあります。「貯蓄」は何にでも使えるメリットがありますが、少しずつ積み立てていくので急に発生した大きな損失はカバーできません。

「保障(共済・保険)」は急に大きな損失が発生してもカバーすることができます。



保障には「貯蓄を守る」という機能があります。

万一のときに共済(保険)金が支払われることで、貯蓄を取り崩さずに済むからです。



「保障って難しそう…」と思われる方も多いはず。でも、ご安心ください。

実は**保障の考え方はとってもシンプル**なんです!

自分で準備する必要があるのは
この部分だけ!

この部分の定期的な点検・見直しが大切!
年代・家族構成によって変わります

私的保障

共済・保険・貯蓄など

社会保険等の「公的保障」と勤務先や労働組合等の「企業・団体内保障」をベースに不足する部分を「私的保障」でカバーしましょう。



思っていたより負担が少ないかも!

企業・団体内保障

退職金・死亡弔慰金など

公的保障

社会保険制度・厚生年金・健康保険など

公的保障

亡くなった場合……万一のことがあった場合、遺された家族は「公的年金(遺族年金)」を受け取ることができます。
入院・通院した場合……入院・通院する場合は「健康保険」があり、医療費の自己負担は3割となります。

企業・団体内保障

勤務先には「死亡退職金」などがあり、労働組合にも慶弔制度や団体保障などがあります。自分の会社の福利厚生を知らない人も意外と多いはず。これを機会に1度確認しましょう。



保障を考えるポイントは、家族で一緒に考えること!



夫婦は、お互いに自分たちの家庭や生活を守る責任があります。お互いが加入している保障内容を知らないと、重複して保障に加入していたり、せっかく加入しているのに気がつかず保障を受けられないことも。ぜひお互いの保険証券(共済契約証書)を共有し、確認しましょう。また、保障は「必要な時期」と「点検・見直しする時期」があるので、**加入したらそのままにせずライフステージにあわせて点検・見直しを行いましょう。**

保障に必要な費用を知りたい、ライフスタイルに合う保障設計を立てたいとお考えの方へ

こくみん共済〈全労済〉 全国労働者共済生活協同組合 **こくみん共済 coop** 埼玉推進本部 (埼玉県労働者共済生活協同組合)

〒338-8504 さいたま市中央区下落合 1050-1

☎ 048-822-0631

こくみん共済 NEWS

<https://www.zenrosai.coop/gokentou.html>

